



日進北小だより

令和2年7月1日 7月号 第4号
電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>



「チーム日北 ありがとうございます！」

校長 平塚 信也

7月を迎えました。昨年度の2月下旬の休校から始まった新型コロナウイルス感染拡大防止への対応も5か月目に入りました。もう、1学期が終了します。「教育界始まって以来初めて」という言葉が多く聞かれた1学期でした。子どもたちへの今後の影響が心配されますが注意深く子どもを見つめ、考え得る限りの支援をしていきたいと思えます。来月の夏休みも、8月1日～16日という「始まって以来」の短い夏休みとなりました。全員登校を始め、休校期間中に崩したリズムをやっと取り戻し始めたところでしたが、ここでまた、短い夏休みが入ります。この16日間の過ごし方は2学期のスタートに直結します。取り戻したリズムを持続して2学期のスタートが切れるようにしてほしいと思えます。また、いつもより短い夏休みだからこそ、いつも以上に計画的に使いたいものです。やりたいことを決めて、充実した夏休みをすごさせてください。コロナへの対応はもちろんのこと、交通事故、熱中症などには十分気をつけ、8月17日、やる気に満ちた顔で皆さんが元気に登校してくれることを楽しみにしています。



さて、6月15日から全員が登校することになり、学校も活気づいてきました。この間地域や保護者の方の大きなご支援をいただきました。アルコールが不足して困っているときにはPTAの関係の方からご寄付をいただいたり、PTAに消毒液や石鹸を買っていただいたりしました。また、フェイスマスクも頂きました。分散登校の間は、安心メールの機能を使い旗振りのボランティアを募集したところ多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。



学校の新しい生活様式では、感染拡大防止のために様々なことをしていますが、今回、新たな教職員の仕事に毎朝の検温チェックと放課後の消毒があります。子どもを守るためには当然のことではあります。朝、子どもとあいさつを交わしたり、放課後ちょっと話をしたりすることができないのは教職員にとってストレスを感じるものでした。そんなとき、保護者の方から「何か手伝えることはないですか？」とのありがたいお申し出をいただきました。ここは保護者の皆様に甘えてしまおうということで再びボランティアの募集をさせていただきました。可能なときに、可能な人が手伝う形で、完全ボランティア制として始めています。ほぼ毎日お手伝いいただける方もいらして、担任一同大変助かっています。校長として、このご支援は保護者と学校をつなぐきっかけの一つになるかもしれないと手ごたえを感じています。本校も令和4年度からは、コミュニティスクール(学校運営協議会を設置している学校)となる予定です。「児童に慕われる教員と保護者・地域が一緒になって作る学校。」そんなイメージでしょうか。詳しくはまたの機会にご説明します。これからも「チーム日北」としてよろしく願います。

